

＜我が国企業による展開の例＞

三菱重工業：風力発電（イギリス）

三菱重工業及び同社の欧州原動機拠点であるMPSE (Mitsubishi Power Systems Europe) は英国政府と覚書を締結し、ビジネス・イノベーション省 (BIS) から補助金を受けて洋上風車の実証・開発プロジェクトに取り組む。日本メーカーが洋上風車市場に参入するのは初。



住友商事：太陽光発電（スペイン）

近年環境資源保護の観点から風力・太陽光発電の導入に積極的なスペイン・カナリア諸島テネリフェ島にて、メガソーラー（大規模太陽光）発電所を稼働開始。日本企業が事業主体となる発電所としては世界最大規模の12.6MW。シャープの太陽光発電パネルを調達。



シャープ：太陽電池（イタリア）

エネル・グリーン・パワー (EGP) 社、STマイクロエレクトロニクス社と薄膜太陽電池の生産事業に関する合弁契約、EGP社と独立発電事業に関する合弁契約を締結。

日本ガイシ：NAS電池（UAE）

アラブ首長国連邦 (UAE) のアブダビ水利電力庁からNAS (ナトリウム硫黄) 電池システム50MWを受注。高エネルギー密度で高効率のNAS電池を用いて電力負荷を平準化することで、ガスタービン発電機の運転を効率化。今後、電力需要の拡大が著しいアブダビ本土や大規模太陽光発電への活用も検討。

昭和シェル：太陽光（サウジアラビア）

国営石油会社サウジアラムコと、サウジ国内における太陽光を活用した小規模分散型発電事業の可能性調査に着手。

三菱商事：太陽光、太陽熱、風力など（スペイン）

新エネルギー発電設備約700万KWを保有するアクシオナ社と新エネルギー発電事業を共同で開発運営。

ユーラスエナジー：風力発電等（欧米）

東京電力と豊田通商の合弁企業であるユーラスエナジーは、今後5年間で総計100万KW分の風力発電所を欧米に新設・運営。

